

食品安全委員会の7月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第150回 7月3日（月）

- ・松田食品安全担当大臣挨拶
- ・7月1日付けで食品安全委員会委員の改選が行われたことから、7名の委員（小泉直子委員、寺田雅昭委員、長尾拓委員、野村一正委員、畑江敬子委員、本間清一委員及び見上彪委員）を紹介
- ・委員の互選により寺田雅昭委員を委員長として選出

第151回 7月6日（木）

- ・寺田委員長が見上彪委員を委員長代理として指名したことについて報告
- ・食品安全委員会の6月の運営について報告
- ・食品安全モニターからの報告について（平成18年5月分）の報告
- ・「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等について報告（平成18年6月分）

第152回 7月13日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（遺伝子組換え食品等「除草剤グルホシネート耐性ワタLLCotton25系統及びチョウ目害虫抵抗性ワタ15985系統を掛け合わせた品種」）について厚生労働省から説明
- ・添加物専門調査会における審議状況について報告（「酢酸 - トコフェロール（d体及びd1体に限る）」の審査について、国民からの意見・情報の募集に着手することを決定）
- ・平成17年食中毒発生状況の概要について厚生労働省から説明

第153回 7月20日（木）

- ・食品健康影響評価の要請（動物用医薬品4品目 「ケラチナーゼを有効成分とする洗浄剤(プリオザイム)」、 「鶏のトリニューモウイルス感染症生ワクチン(ノビリスTRT・1000)」、 「豚のアクチノバシラス・プルロニューモニエ感染症不活化ワクチン(ポーシリスAPP、ポーシリスAPP「IV」)」及び 「豚オーエスキー病生ワクチン(スバキシン オーエスキー フォルテ、スバキシン オーエスキー フォルテ ME)」）について農林水産省から説明
- ・食品健康影響評価の要請（農薬「カズサホス」）について厚生労働省から説明
- ・食品健康影響評価の要請（農薬25品目 「アゾキシストロピン」、 「インドキサカルブ」、 「クロチアニジン」、 「クロルピリホス」、 「クロルフェナピ

ル、 「ジコホール」、 「ジメトモルフ」、 「スピロメシフェン」、 「チア
メトキサム」、 「ノバルロン」、 「ピリプロキシフェン」、 「ピフェナゼート」、
「ピフェントリン」、 「フェンブコナゾール」、 「フェンヘキサミ」²¹ 「ミル
ベメクチン」²² 「メタアルデヒド」²³ 「ルフェヌロン」²⁴ 「シロマジン」及び²⁵
「スピノサド」並びに動物用医薬品16品目 「アンピシリン」、 「イベルメ
クチン」、 「オルビフロキサシン」、 「スルファメトキサゾール」、 「セファ
ピリン」、 「セフチオフル」、 「チアンフェニコール」、 「トリメトプリム」、
「プラジクアンテル」、 「フルニキシメグルミン」、 「フロルフェニコ
ール」、 「ホスホマイシン」、 「ミロサマイシン」、 「メロキシカム」、 「シ
ロマジン」及び「スピノサド」)について厚生労働省から説明

- ・食品健康影響評価(動物用医薬品「イベルメクチンを有効成分とする牛の寄生虫
駆除剤(アイボメックトピカル)」の再審査について検討。同日付けで食品健康影
響評価の結果を農林水産大臣に通知)
- ・動物用医薬品専門調査会における審議状況について報告(「ウエストナイルウイル
ス感染症不活化ワクチン(ウエストナイルイノベーター)」の審査について、国民
からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・動物用医薬品・肥料・飼料等合同専門調査会における審議状況について報告(「家
畜等に給与するモネンシナトリウムによる薬剤耐性菌」の審査について、国民
からの意見・情報の募集に着手することを決定)
- ・平成18年度食品安全モニター会議について報告

第154回 7月27日(木)

- ・食品健康影響評価(遺伝子組換え食品「除草剤グルホシネート耐性ワタLLC o
tton25系統及びチョウ目害虫抵抗性ワタ15985系統を掛け合わせた品
種」)について検討。同日付けで食品健康影響評価の結果を厚生労働大臣に通知)
- ・米国産牛肉の輸出認定施設等の調査結果の報告について厚生労働省及び農林水産
省から報告
- ・BSE対策に関する調査結果について厚生労働省及び農林水産省から報告
- ・食品残さ利用飼料の安全性確保のためのガイドラインについて農林水産省から報
告
- ・食品安全モニターからの報告(平成18年6月分)についての報告

2 専門調査会の運営

(1) 添加物専門調査会

第34回 7月14日(金)

- ・「香料2-メチルブタノール」及び「香料イソブタノール」について検討

(2) 農薬専門調査会

第1回幹事会 7月19日(水)

- ・「ジェネリック農薬の評価方法」、「共通代謝物を持つ農薬の評価方法」、「今後の暴露評価方法」及び「各部会において審議する農薬の指定」について了承
- ・「今後の暴露評価方法について」が了承されたことに伴い、既に一日摂取許容量（ADI）を設定することが了承されていた「ボスカリド」及び「ノバルロン」については、一部修正の上、評価書（案）をとりまとめ、食品安全委員会に報告することを決定

第2回総合評価第一部会 7月19日（水） 非公開

- ・「ペノキスラム」について検討
- ・「ピリプロキシフェン」について検討

第2回総合評価第二部会 7月31日（月） 非公開

- ・「プロパモカルブ塩酸塩」について検討

（3）動物用医薬品専門調査会

第56回 7月26日（水）

- ・「農薬等のポジティブリスト制度導入に伴い食品安全基本法第24条第2項に基づき追加で意見が求められる場合の評価手順及び資料の取扱い」及び「動物用医薬品等専門調査会確認評価部会の設置」について検討され、了承

第57回 7月26日（水） 非公開

- ・プラジクアンテルを有効成分とする3製剤について検討

（4）汚染物質専門調査会

第13回 7月27日（木）

- ・食品からのカドミウム摂取の現状に係る安全性確保について検討

（5）遺伝子組換え食品等専門調査会

第40回 7月24日（月） 非公開

- ・除草剤グルホシネート耐性ワタLL Cotton 25系統及びチョウ目害虫抵抗性ワタ15985系統を掛け合わせた品種について、食品安全委員会に報告することを決定

（6）汚染物質・化学物質専門調査会合同ワーキンググループ

第3回 7月12日（水）

- ・清涼飲料水に含まれる物質の評価にかかる優先順位について一部修正の上、了承
- ・「塩素（残留塩素）」、「四塩化炭素」、「1,4-ジオキサン」及び「1,1-ジクロロエチレン」の4物質について検討。及び「1,1-ジクロロエチレン」について汚染物質専門調査会及び化学物質専門調査会に報告することを決定

3. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

7月10日(月) 食品に関するリスクコミュニケーション(健康食品について知ろう) <徳島県徳島市>

- ・食品安全委員会、厚生労働省・中国四国厚生局及び徳島県の主催により徳島県徳島市にて開催し、独立行政法人国立健康・栄養研究所情報センター健康食品情報プロジェクトリーダー梅垣敬三氏から「健康食品の賢い使い方について」のテーマで基調講演を行うとともに、関澤リスクコミュニケーション専門調査会座長をコーディネーターとして「健康食品について知ろう」というテーマでパネルディスカッションを行い、会場参加者との意見交換を実施

(2) 関係団体等との懇談会

7月27日(木) 全国消費者団体連絡会と委員との懇談会(第7回)

- ・食品安全委員会の3年間を踏まえて、リスクコミュニケーションや情報発信のあり方、米国産牛肉輸入問題などについて、「全国消費者団体連絡会の食のグループ」と意見交換会を実施

4. その他

- ・季刊誌「食品安全 - 共に考えよう、食の科学 - vol.9」を発売